

令和8年度 学校経営構想

「学びの変革」アクション・プラン

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値(イノベーション)を生み出すことのできる人材

第2次三次市教育ビジョンみよし結芽人～幸輝心～

高い志を持ち 夢や目標に向けて挑戦し 自立を図るとともに 多様な共創により 住み続けたい三次を実現する 心豊かで たくましい ひとづくり

児童実態

・単元テスト「思考・判断・表現」平均正答率は 78.9%である  
 ・自分から挨拶をする児童は 89.3%である。  
 ・基礎知識の習得及び思考力・判断力・表現力の定着に課題がある。  
 ・自分の思いを表現することが難しく分かり合えないままけんかになることがある。

本校のミッション

- 子供の命を守る
- 子供に生きる力をつける
- 子供も教職員も幸せになる

本校のビジョン

子供のもつ可能性を発揮できる場を提供し、子供の笑顔で、地域に希望と活力を創り出す学校

みよし学園(三次中学校区)のめざす姿

まちづくりに参画・貢献し、高い志をもつ児童生徒の育成

地域実態

・地域関係者を中心に、学校教育に協力的な組織や人材がある。  
 ・校区内の人口は減少しているが、新たなまちづくりを進めるため地域を活性化しようとする取組が行われている。  
 ・みよし学園コミュニティスクール(学校運営協議会)を推進している。

学校教育目標

心豊かで自ら学ぶ意欲のある子供の育成 ～ みんなでつくる みんなの学校 ～

めざす児童像

進んで学ぶ児童 仲良く伸びあう児童 元気でやりぬく児童

めざす教職員像

子供に対する深い教育的愛情と使命感をもち、人と協働できる教職員

育成すべき資質・能力

- 主体性** 自ら行動することで新たな価値を生み出し、積極的に他に貢献しようとする。
- 協調性** 目的と目標を共有し、目標達成のために、自らの役割を理解し、他者と協力できる。
- コミュニケーション能力** 自分の考えをもち、他者の思いを受け止め、言葉で伝えあうことを通して互いを理解し、認め合える。

令和8年度の重点

- ◎自分たちで考える機会(「ことば」で伝える・伝え合う)
- ◎自分たちが決めたことを協力してやりきる機会(特別活動の充実 主体的な行事)
- ◎自分を振り返る機会(肯定的評価 取組途中の評価 自己評価・新たな目標設定)

(1) 児童の生活の基盤となる学級経営・生活の安定

- ・児童が主体的に生活を見直し、「みんなが気持ちよく生活」できる学校づくり
- ・SST、教育相談(SC、SSW) <<多様な人との出会い、かかわりを大切に>>
- ・組織的な生徒指導体制の確立(情報の共有・方針の明確化・取組を最後まで・見届ける)

(2) 学力の定着向上に向けた取組の充実

読解力・表現力の育成・四則計算の徹底・教科の見方・考え方を働かせる授業・まとめと振り返り  
 多様な学びのスタイルの実現(場の設定、ICTの効果的活用、複線型授業、地域人材の活用等)

(3) 健やかな体の育成

(4) コミュニティスクールの充実